

秋の叙勲

昭和54年、干潟町議会議員に初当選し以来連続7期の間、干潟町議会議長をはじめ多くの要職を歴任し、産業の振興や都市基盤の整備、住民福祉の向上に努めるなど、町勢の発展に貢献されました。平成17年には、市町合併を経て旭市議会議員として市勢の発展に尽力されました。



旭日双光章

(地方自治功労)

金杉佐久治さん

74歳 (萬力)

危険業務従事者叙勲

昭和42年、陸上自衛隊に入隊以来34年余にわたり宇都宮駐屯地などで勤務され、弾道・着弾計算や災害現場での救助活動に尽力されました。なかでも昭和60年、群馬県の山中に民間航空機が墜落した事故では、50日間にわたり現地にとどまり、献身的な救助活動が続けられました。



瑞宝双光章

(防衛功労)

金杉信一さん

61歳 (南堀之内)

自分たちで育てた作物を自分たちで料理

富浦小で「ちばっ子元気に」食と農の体験事業

自分たちで育てた作物を調理し食べることで、農業や食料について理解を深めようと、富浦小学校の5、6年生が11月7日、学校で取れた落花生を調理し、味わいました。まず6年生が各班に分かれ、保健推進員さんと一緒にピーナツクリーム作りをスタート。子どもたちは、炒った落花生をすりつぶしていると立ち上る甘く香ばしい香りに誘われ、交代で味見をするとそのおいしさにびっくり。出来立てのクリームをいっぱい載せたクラッカーを手に、「こっちのも食べてみて」と笑顔で交換する姿が見られました。



水面に踊る銀鱗

秋のヘラ鮒釣り大会

袋の東ため池で10月26日、秋のヘラ鮒釣り大会が開かれ、市内をはじめ県外からも参加した187人が、自慢の腕を競いました。ため池周辺に陣取った参加者は、水面に頭を出すウキのわずかな変化に合わせを入れて、次々と型の良いヘラブナを釣り上げていきました。この日、25.76kgと一番ヘラブナを釣り上げた嶋田秀勝さん(東庄町)を含む上位7人には、表彰式で賞品が贈られました。

危険業務従事者叙勲

昭和39年、海上自衛隊に入隊以来37年余にわたり館山航空基地などで勤務され、周辺海域の防衛と海上交通の安全確保に尽力されました。この間、陸上基地などとの通信や関連機材の操作整備を行う通信業務に従事し、国民の安全や国土の保全に貢献されました。



瑞宝単光章

(防衛功労)

一條忠博さん

61歳 (平松)



将 来の夢を語り再会を誓う

旭市中学校合同文化祭



▲美術作品の展示



▲2階まで続く、5年後の自分へあてたメッセージの寄せ書き



▲旭二中の合唱

11月11日、市内5つの中学校の交流を図ろうと、中学校の3年生が東総文化会館で合同文化祭を開催しました。「つなごうよ！今と未来の架け橋を」というテーマで行われた今年の文化祭は、各学校の合唱のほか、琴やサクソホンの演奏、英語スピーチ、よさこいソーランの演舞など各学校から特色ある発表がされ、会場の生徒たちを盛り上げました。また、ロビーでは、各学校美術部の作品や生徒たちが「5年後の自分に向けてのメッセージ」として書いた、寄せ書きが展示されました。

文化祭の最後は、全員で「世界の夢を」を合唱し、5年後、成人式での再会を約束しました。

信 頼される産地づくり

第8回東総耕地の将来像を考える研修会

10月30日、東総文化会館で農業関係者など600人が参加し、研修会が行われました。

研修会では、大根根用水事業に尽力した野口初太郎氏の功績がスライドなどで紹介された後、株式会社ニチレイの浦野光人会長が「日本の農業、そして東総地域の農業に期待すること」と題して商・工・農の連携などについて講演しました。また、元夕張市農業協同組合の高橋篤さんが夕張メロンにかけた農協・農家の決意と信頼される産地になるまでの努力や苦労話などを話しました。



▲講演をする夕張市の高橋篤さん

防 犯灯設置で明るく安全なまちに

まちを明るくして、安全で安心した生活が送れるようにと、11月4日、東京電力株式会社成田支社から防犯灯が寄贈されました。市では、子どもたちを始め、市民の皆さんが事故に遭わないよう、暗い夜道の解消に役立てます。

ごみ発見！見えないように捨ててある

秋のゴミゼロ運動



◀一生懸命ごみ拾いをする子どもたち

市民が自分たちで地域のごみを拾い、みんなできれいな旭をつくろうと、10月26日、秋のゴミゼロ運動が行われました。当日は、朝早くから大勢の市民が地域のごみを拾って歩きました。この日、集められたごみは約19トン。参加者のひとり「ごみは見えないように捨ててある。自分の土地や屋敷の周りをきれいにし、捨てづらい環境にするのも大切」と話していました。



◀市長に目録を手渡す銚子営業センター所長